

明塾新聞 七月号

さくらだより



講師挨拶 堀剛彦先生



今年の夏も厳しい暑さになりそうです。そう考えていると「夏みかん」という言葉が思い浮かびましたので、夏みかんのことを書きます。

みかんといえは、冬にこたつのイメージがありませんか？これは温州みかんやハウスみかんです。夏みかんは3月〜5月頃の初夏が食べ頃のようにす。正式な和名をナツダイダイ（夏代々）といいます。これは実を収穫せずに置いておくと、次の年は前年の実がまだ付いているのに、また新しい実が付くという変わった習性があり、「実りが代々続く」という意味で名付けられました。明治

の頃に京都や大阪方面に出荷するとき、大阪の商人から名称を「夏蜜柑」に変更するように言われ、その名前で知れ渡ったようです。

柑橘類のほとんどは、初夏に花を咲かせ秋〜冬〜春頃に収穫時期を迎えます。もともと夏みかんも秋から冬にかけて収穫されていましたが、酸味が強いのでお酢の代用品や観賞用とされてきました。今は冬に収穫し、貯蔵をして酸味を抜くか、春先から初夏まで木で成らせ、熟成してから収穫します。夏みかんだけでなく、ゆずやレモンなどもそれぞれの性質に合った用途や収穫時期を見つけてきました。

ばしていきましよう。他の人と同じようにやっても上手くいかないこともあります。いろいろ試して、自分に合ったやり方を見つけてましよう。すぐに成果は出ないかもしれませんが。夏みかんが長い時間をかけて甘くなるように、続けていけば必ず何かの形で表れてきます。嫌になったり、諦めそうになったとき、もう少しがんばって続けてましよう。



塾生にきいてみました！  
宇宙について

私は地球外生命体がいると思います。

地球では猿が進化して人間となったように、鳥や魚、もしかしたらアメーバーが進化している惑星があるかもしれません。そして長い宇宙の歴史のなかで発展、消滅を繰り返しているかもしれません。そう思うと、神秘的で面白いと思います。

洛北高校二年 尾谷悠愛さん

夏休み、やる気の出る相談会です！  
第26回 中学・高校進学個別相談会  
7月7日(日) 午後2時～4時30分  
京田辺市商工会館 CIKビル  
夏休みの過ごし方が変わります！  
地域最大の規模です！入場無料！入退場自由  
参加 37校 主催：関西私塾の会



2024年度 中学三年生対象  
第1回 五ツ木・京都模擬テスト会  
60余年の実績を誇る  
京都で最大のテスト会！  
スタートアップ！  
実力をチェックし、夏休みの学習計画を立てよう！  
7月7日(日) 会場 明塾

募集！

熱中症対策について



あまりの暑さに甲子園での高校野球大会も真っ昼間は避けての試合になるとか。明塾のみなさんはどのように熱中症対策をされていますか。暑さをしのぐアイデアをぜひ教えてください。

【応募方法】文章、写真、イラスト等、すべて用紙は自由です。お名前を記入して、担当の先生にお渡し下さい。次号で紹介させて頂きます。

【締め切り】七月十五日(月)  
【特典】先着十名様に図書カード五百円分を進呈いたします。  
※募集テーマ以外の作品も、随時受け付けています！